

みんなに つたえよう(1年)

# 「みぶりを つかって はなそう」

## 指導目標

身ぶりについて読んだり，身ぶりを使って話したりして，よりよい使い方を考える。  
相手の話を受けて，質問したり，意見を述べるができる。話す・聞く  
しっかり口を開けて，はっきりした大きな声で話すことができる。言語

## 教材について

本教材の話すこと・聞くことの学習「みぶりを つかって はなそう」は，単元の導入段階で身ぶりについての関心を高め，説明文「みぶりで つたえる」で身ぶりのはたらきの大切さを読みとり，そのうえで日常生活の中で相手によりよく伝え，相手の気持ちや考えを受けとめるために実際に体験するものである。楽しく意欲的に活動するなかで，よい話し方・聞き方はもちろん，簡単な話し合いの仕方も身につけさせ，生きてはたらく力をつけていくことが大切である。そこで，本実践では，以下のことに留意し，指導にあたることとする。

### (1) 題材

「みぶりを つかって はなそう」は，自分が見たことのある生き物の大きさや動きを身ぶりで表しながら話すよう呼びかけ，そのなかでも特にクイズ形式での話し方を取り上げている。しかし，今回は生き物のことに限らず，これまで学習してきた身ぶりや他に知っている身ぶりをつかって話すというように範囲を広げて話させたい。意欲を持って取り組むことができるよう，自分で身ぶりを調べる活動を取り入れ，発表の場では，聞く人も楽しめるようなクイズ形式を取り入れるなどの工夫をさせたい。

### (2) 視聴覚教材の視聴

みんなに聞こえる声ではっきりと話し，そのなかに効果的に身ぶりを入れていくことが大切である。表現(話すこと・聞くこと)の援助として，発表の仕方・簡単な話し合いの仕方の視聴覚教材の視聴を通して，何をするのか，どんなことに気をつけてするのか確かめて，よりよい発表や話し合いをさせたいと考えた。

手本となる視聴覚教材は，2年生に作成してもらうことも考えられる。

### (3) グループ練習とTT体制

調べたことをもとに同内容ごとにグルーピングし(生き物クイズグループ，ふりつけ歌グループ，手話グループ，お話しグループなど...)，グループで発表練習する場を設定して，仲良く，良い点やもっとこうした方がよい点などを話し合わせるようにする。この時，個に応じた支援や指導時間確保のため，同学年教師のTT体制を取り入れる。

### (4) 評価の工夫

身ぶりをつかって話すだけでなく，友達の話最後まで口をはさまずに聞き，相手の気持ちや考えを受けとめて聞くということも大切である。そこで，「話し方名人」「聞き方名人」「話し合い名人」による自己評価や，グループ内における相互評価を取り入れ，学習の振り返りとして。

### 学習指導計画（全9時間）

時	過程	学習活動	留意点、評価規準及び方法
第1時	つかみ見通す	<p>これまでの学習を振り返り、ねらいを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入のゲーム，説明文「みぶりでつたえる」の学習を想起する。</li> <li>「みぶりを活かしてはなそう」の学習課題をつかむ。</li> </ul>	<p>他に知っている身ぶりを話し合ったり，調べたりさせる。</p> <p>発表会への意欲をもたせる。</p> <p><b>関</b>：身ぶりを使って話すことに関心をもち，めあてをもって取り組もうとしている。（発言）</p>
第2時		<p>視聴覚教材で「発表の仕方」や「話し合いの仕方」を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し方・聞き方・簡単な話し合いの仕方</li> <li>効果的な身ぶりの使い方</li> </ul> <p>教材文を読み，クイズ形式の話し方をつかむ。</p>	<p>視聴覚教材を利用し，話し合う。</p> <p><b>話聞</b>：発表の仕方や話し合いの仕方を見て，自分なりの意見を発表している。（発言）</p>
第3時	情報収集	<p>自分で調べた身ぶりを絵に描き，どんな身ぶりで，どんなときに使うのか，どんなことが伝わるのかを言葉でまとめる。</p>	<p>話すための手がかりにさせる。</p> <p>相手意識をもって書かせる。</p> <p>同内容ごとにグルーピングする。</p> <p><b>関</b>：身ぶりについて絵や文に表し，伝えようとしている。（観察）</p>
第4時	表現の工夫・表現を高める	<p>グループ内で一人一人発表練習をし，よい点や工夫した方がよいところをアドバイスし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習（一人一人の発表練習）</li> <li>一斉学習（抽出児童の発表を聞き，よかったところを学ぶ。）</li> </ul>	<p>お互いのよい点を学び合ったり，アドバイスし合ったりさせる。</p> <p>TTによる指導・支援</p> <p><b>話聞</b>：ワークシートをもとに話したり，友達の発表を聞いて自分なりの意見を述べている。（観察・できたかなカード）</p>
第5時 (本時) ・6時		<p>全体に向けて発表できるように，グループでさらに工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習（グループ全体の発表練習）</li> <li>一斉学習（抽出グループ発表を聞き，よかったところを学ぶ。）</li> </ul> <p>グループリハーサルを行う。</p>	<p>全体発表会に向けて，ワークシートをもとに，グループでよりよい発表ができるように練習させる。</p> <p>TTによる指導・支援</p> <p><b>関</b>：意欲的に発表練習している。（観察）</p> <p><b>話聞</b>：ワークシートをもとに話したり，友達の発表を聞いて自分なりの意見を述べている。（観察・できたかなカード）</p>

			言：声量，丁寧な言い方，姿勢，視線に気をつけている。（観察）
第7 ・8時	実践 ・ 振り 返り	全体発表会を行う。 ・各グループの発表 ・感想（よかったところ）	成就感を味わう場とする。 ビデオ録画する。 話・聞：めあてにそって，話したり聞いたり，話し合っている。 （観察・できたかなカード）
第9時		ビデオ視聴により，これまでの活動を振り返る。	お互いのよさやがんばりを認めさせていく。 聞：友達の発表のよさや工夫を見つけ，発表しようとしている。 （発言・できたかなカード）

はなしかた めいじん

さいごまで はなす

はっきり はなす

じゅんじょよく はなす

ききかた めいじん

やっていることを やめてきく

さいごまで きく

あいてをみたり，うなずいたりしてきく

はなしあい めいじん

これができたら はなしあいめいじん

はっぴょうのしかた

「これから，わたしの～のはっぴょうをします。」

「なにか いけんやしつもんはありませんか。」

「はい，わかりました。つぎは，～します。」

「ありがとうございます。」

「これで，わたしのはっぴょうをおわります。」

はなしあいのしかた

「はい，～です。」

「せつめいします。」

「～さんにしつもんします。」

「わたしは，～だとおもいます。わけは，～だからです。」

「わたしは，～から，～という気持ちがわかります。」

「つけたします。」

「～さんとちがういけんです。」

## 本時の展開（本時 5 / 9）

### 目標

- ・全体発表会に向けて，グループでよりよい発表ができるように話し合うことができる。
- ・お互いにより話し方ができるように感想を述べたり，アドバイスし合ったりできる。

### 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発表会に向けて，グループ発表をしてみよう。</div>	一斉学習 T1 進行，T2 板書	「話し方名人」「聞き方名人」「話し合い名人」を教室に掲示しておく。
2 伝える相手，めあての確認をする。 ・だれに...学級みんなに ・めあて...聞く人が楽しめる工夫をしてみよう。	伝える相手は，学級のみならず，個人での発表ではなくグループ全体としての発表になるので，聞いている人が楽しめる工夫をすることをおさえる。	
3 グループで，聞いている人が楽しめるような工夫を話し合う。 グループで工夫することを話し合い，ワークシートにメモをする。 ワークシートをもとに発表練習をする。	グループ学習 T1，T2 は観察・個別指導 各グループにバランスよく指導できるように，T1，T2 の動きを決めておく。 リーダーを中心に話し合い，話し合ったことはメモさせておく。	<b>関</b> ：意欲的に発表練習をしている。（観察） 声量，丁寧な言い方姿勢，視線に気をつけるように助言する。
4 グループの発表を聞きながら，みんなで話し合う。 ・よかった点 ・アドバイス	一斉学習 T1 進行，T2 発表補助 T1，T2 が担当したなかから抽出したグループの発表を聞かせ，他グループは良かった点やアドバイスを発表し，お互いに交流を図る。	<b>話聞</b> ：ワークシートをもとに話したり，友達の発表を聞いて自分なりの意見を述べている。（観察・できたかなカード） 話し方のよい点を見つけるよう助言する。
5 学習を振り返る。	めあてや，「話し方名人」「聞き方名人」「話し合い名人」の観点に沿ってがんばることができたか「できたかなカード」に書かせる。	
6 次時のめあてをもつ。	ビデオ録画する全体発表会に向けて，ワークシートの見直しやグループリハーサルの意欲を喚起する。	

# できたかなカード

なまえ

だれに・・・

---

めあて・・・

---

---

きょうのべんきょうのかんそう

---

---

---

---

できたら、いろをぬりましょう。

はなしかためいじん



ききかためいじん



はなしあいめいじん



# グループはびりをつかたを拍毬にしよう

つ さ い あ	<p>これから <input type="text"/> グループの はびりをつかたを拍毬にしよう。</p> <p>わたしたちは <input type="text"/> みぶりにつなぐたのめを拍毬にしよう。</p>
と こ た べ ら し	<p>つなぐたのめを拍毬にしよう。</p>
う ふ く	<p>(おく人がたのめを拍毬にしよう。)</p>